

ほほえみ



今年度から大府福祉会に、利用者2名・職員4名が入りました。

令和5年度 大府福祉会 重点的な取り組み



社会福祉法人 大府福祉会

チャンネル登録



令和5年度の基本方針

大府福祉会は、平成30年度より6カ年による第4期中長期総合計画に沿った取り組みを推進してきました。令和5年度はその最終年にあたり、計画の推進に加えて評価も行うこととなります。そして、財務計画と合わせて、次期計画となる令和6年度から始まる第5期中長期総合計画の策定も行っていきます。

昨年度、中長期総合計画策定推進委員会の作業部会から職員意識調査の結果による課題とSNSを用いた情報発信の課題に、2つのプロジェクトチームを組織して取り組みました。これらのプロジェクトチームが調査・検討してきた内容について、精査し実行していきます。

利用者も職員も、安心・安全な法人となるよう、施設の環境の整備を進めると共に様々な制度の改正にも対応していきます。

1. 第5期中長期総合計画の策定

令和5年度は第4期中長期総合計画の最終年にあたるため、第4期計画の取り組みを総括しながら次期計画へつなげていく。また、次期に向けての検討では、引き継ぐ内容に加えて新たに盛り込む内容についても協議していく。

2. 財務計画の策定

第5期中長期総合計画の取り組み内容に合致した財務計画の策定を、外部のコンサルタントを入れて行う。最初に現状の分析から開始する。第5期中長期総合計画に盛り込まれる事業動向も見据えて、将来に渡り安定した経営が行われるよう計画を作成していく。また、計画の最終年となる経営計画の振り返りも行う。

3. 暮らしの場の支援の充実に向けた検討

様々なニーズを持つ利用者の暮らしを支えるために、現在の大府福祉会の暮らしの場の支援のあり方について見直すとともに、新たな暮らしの場の必要性やその機能・形態などについて検討・準備を行う。

4. 活き活きと働ける法人に向けた取り組み

令和4年度に、プロジェクトチームを組織し、職員意識調査の改善計画案を提案した。令和5年度は、労働環境の改善に向けて、具体的な計画を実行する。すぐにできるものは4月から実施し、規程の改定が必要なものも令和5年度中に手続きを進める。

5. 広報活動による媒体のあり方の検討

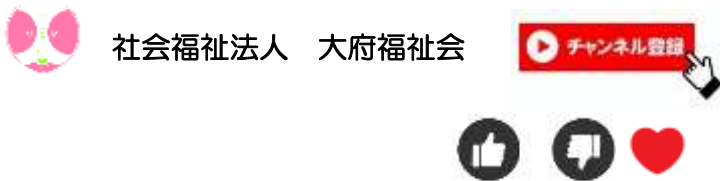
令和4年度にプロジェクトチームを組織し、SNSによる効果的な情報発信について検討を行った。また、ホームページのリニューアルについても話題に上がり、令和5年度に予算を確保し、ホームページの更新をしていく。



大府福祉会令和5年度重点事項
(事業計画より抜粋)
大府福祉会の令和5年度事業計画より、
各事業所の重点的な取り組みを紹介します。

法人本部事務局

- コンサルタントを入れた財務分析と財務計画の策定
- 各種規程・規則の運用について整理を行う



あけび苑

- あけび苑本館・南館の屋上防水工事と外壁塗装工事を実施する
- 業務継続計画(震災版)の職員への周知と避難所開設のための防災訓練を実施する

たくと大府

- 防災倉庫を設置する
- 重度障害者支援加算を申請し、支援力の強化や収入を確保する

東あけび苑

- 防災倉庫を設置する
- 市民向け勉強会の開催

地域生活支援センター「そら」

- 人材育成の強化
- ホームスタッフが安心して働ける環境の構築

ひだまり

- 地域と連携して防災活動をする
- 第三者評価の結果を踏まえた改善をしていく

大府市発達支援センターみのり

- センターの活動を地域・関係機関に発信し、連携が取れるようにする
- 第三者評価の結果を踏まえた改善をしていく

あけびの実

- 第三者評価を受審する
- 職員の労働環境を改善する

最近の大府福祉会のトピックスです！



毎日暑い日が続いていますが、皆さん、いかがお過ごしでしょうか？
暑さを吹き飛ばすような、元気になる話題をお届けします！！

あけび苑

あけび苑ではアート活動で作成した絵画作品を毎年スピカに展示していましたが、今年度4月にリニューアルしました。利用者さんに新しい作品を展示したことを伝えると「早く飾られているのを見たい！」と楽しみにされていました。ただいま絶賛展示中です。

5月3日(水)～5日(金)、ゴールデンウィーク中のあけび苑では、通常の日課に加え、アート活動や映画鑑賞、ポッチャをして過ごし、いつもとは一味違うゴールデンウィークを満喫しました。

また、5月中旬には今年度のあけび苑の事業計画を利用者さん向けに作成し、説明会を行いました。今年度は就労班に加え、生活班でも参加された利用者さんに配慮した内容で丁寧に説明を行いました。利用者の皆さんは真剣に説明を聞いていました。



東あけび苑

コロナ禍では難しかった行事を開催しました。

1つ目は、芸能祭です。芸能祭は、ゴールデンウィーク期間中で、取引先の長期連休に伴い、作業量が減少している期間に地域の芸能ボランティアさんを招き、様々な演目を披露していただく行事です。1回目にウクレレしょうべいさんの盆踊りとウクレレ演奏、2回目にはひびきさんのハーモニカ演奏を聴きました。ボランティアさんと一緒に歌うことや踊ることは久しぶりで、とても楽しい時間となりました。

2つ目は北山学区ふれあい運動会への参加です。一部利用者の少人数での参加となりましたが、北山小学校の生徒さんや地域の方たちと共に、玉入れや綱引きの競技に参加しました。

どちらも4年ぶりの開催となりました。少しずつコロナ禍前の日常に戻りつつある東あけび苑でした。



ひだまり

ひだまりでは、柘山ヒルズコミュニティセンターで月2回開催されている『石ヶ瀬地区福祉委員会 柘山サロン』に参加し、地域の方々との交流の輪を広げています。サロンの方々はとても温かく、皆さん気さくに話しかけて下さり、和気あいあいとした時間を過ごすことができ、気軽に参加しやすい雰囲気をつくってくれています。

活動内容の1つとして、出雲地方に古くから伝わる民俗的なリズム楽器の『銭太鼓』に参加しています。銭太鼓は竹筒状で一尺程の長さがあり、振るとシャンシャンという音が出ます。その音に利用者さんの気持ちも高ぶり、童謡や『三百六十五歩のマーチ』の曲に合わせて一生懸命腕を大きく振り、額に汗を滲ませながらとても良い表情で楽しんでいます。今後も様々な活動に参加し、良い形で地域の方々との関係を深めていきたいです。



「そら」

「そら」のホーム事業では、今年度から体制の強化を行い、昨年度よりも手厚くホーム担当職員を配置しました。スタッフからの相談や緊急時に迅速な対応ができるよう、施設との連携を強化していきたいと思えます。

ホームヘルプ事業では、徐々に行き先の制限も緩和され、野球観戦などの遠出の活動希望にも応えられるようになってきました。利用者さんも行きたい所に出かけることができ、楽しそうに過ごされています。

事務所内では「「そら」文庫」というものを作り、職員が本を持ち寄り知識の向上や自己啓発に努めています。また、業務確認表や“やることリスト”などを活用し、業務の見える化を行っています。各個人の業務の進捗状況がわかり、仕事の効率化や負担軽減につながっています。

あけびの実

あけびの実では、数年ぶりに新商品を販売しました。「タルトフロランタン」という本格的スイーツです。職員だけでなく利用者も「美味しい!」「家族に買いたい!」と盛り上がっています。ただ、他の商品に比べてレシピが複雑なため、現在は利用者のできる工程が少ないですが、携われる範囲で作業に従事し、前向きに取り組んでいます。

また、今年から新しく「接客係」を設け、商品の袋入れや受け渡しを行うことに取り組んでいます。今まで店に出る機会が少なかった利用者さんは、緊張した様子もありながら、お客さんと関わり、「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」と声を出しています。それにより、お客さんの嬉しい表情や商品が売れる場面を見て、利用者自身もモチベーションが上がっている様子です。今後も利用者と共にお店を盛り上げていきますので、是非、インスタもチェックしてください♪



たくと大府

昨年11月、大府福祉会でソフトボールチーム「おぶストレングス」を結成し、たくと大府の職員も多く参加しています。5月の中旬頃に地元企業と試合を組ませて頂き、試合に向けて練習開始しました。3月から毎朝、たくと大府の駐車場でキャッチボールをし、毎週木曜日の業務後、小学校のグラウンドを借りて2時間、初勝利に向けてチーム一丸となりナイター練習を行いました。試合の結果は、練習の成果を発揮することができて16対7で大勝し、初勝利を手に入れました。勝つことができたのはとても嬉しいことですが、それ以上に普段かかわりの少ない他事業所の方と関わることができ、新人からベテランまで世代の違う方とソフトボールを通じて親睦を深められたことが一番良かったと個人的に思っています。職場の良い雰囲気作りの為にもこのような活動を大切にしていきたいと思えます。



みのり

みのりでは、昨年度から、普段平日では療育に参加できないご家族に療育の様子を知っていたらと考え、「土曜療育」を行っています。お父さんやおばあちゃんに朝の支度や給食など、がんばっている様子も見てもらえて、ちょっと得意気な様子のお子さんも。普段は同じ曜日に通ってくるおともだちにしか会えませんが、この日は利用日に関係なく、顔を会わせることができました。「土曜療育」は、ごきょうだい以外のご家族でしたが、8月の夏まつりではごきょうだいや卒園児、そのご家族もお呼びして一緒に楽しめたらと思っています。

今年の10月にはみのりが開所して5年を迎えますので、同窓会を行う予定です。



「大府福祉をよくなる会」について

たくと大府 諸岡 宗

令和3年度に行われた第2回職員意識調査の結果を受け、浮かび上がった課題について、令和4年度に改善策を計画し、令和5年度に改善の実施を目指すため、令和4年度の8月から3月までの期間で「大府福祉をよくなる会」(以下、「よくなる会」)というプロジェクトチームを結成しました。担当職員は各事業所から立候補により集まった中堅・若手の職員が主なメンバーで、月に1回程度の頻度で会議を行い、過度な残業にならないよう行われました。

「よくなる会」では、人材育成部会が意識調査の結果を整理し、作成した課題整理表を基に、各事業所の職員に聞き取りを行い、ブレインストーミング^{※1}で改善案を出し合いました。多数の意見が出た中、令和5年度から取り組める具体的なものを重視し、絞り込む作業を行いました。絞り込んだ改善案をKJ法^{※2}にまとめ、ペイオフマトリクス表^{※3}に落とし込むことで優先度を決めました。

こうして決定した改善案を全職員に報告するため、オンライン形式でプレゼンテーションを行いました。改善案を提案したうえで、「よくなる会」の設立の経緯から、どのような経緯で改善案ができたのか、メンバーの想いや感想を発表しました。プレゼンテーション後に各事業所で、職員に対し改善案について聞き取りを行い、その意見を踏まえ、「よくなる会」で検討し最終的な改善案を作り上げ、今年度より3つの改善策を実施することになりました。



改善策1「時間外勤務改善」

- ・ 残業時間の単位数の見直しと、新たな管理方法の見直し。また、過度な残業が増えないよう管理していく。

改善策2「人事評価改善」

- ・ 管理者による職員の評価の際に、リーダーの意見を参考にしていく。
- ・ 管理者に対し180度評価を導入する。

改善策3「資格取得推進改善」

- ・ 法人として資格取得を応援するため、資格手当を増額し法人全体で高い専門性を身につける。

現在は年度がスタートしたばかりなので、上記の改善策のうち改善策1のみ実施している状況ですが、多くの事業所で残業時間が減少した、業務負担の把握ができるようになったなど、良い効果が出てきています。今後、すべての改善策が実施される予定です。「よくなる会」に参加したメンバーからは、置かれている環境や事業所の特性が異なることで、人それぞれ様々な意見があり、その意見をまとめることや、立案するにあたり、財源の問題、実効性や継続するかなど、あらゆることを踏まえて取り組むことで、法人をよくなるだけでなく、自身の成長に繋がったという意見が出ています。

「よくなる会」がきっかけとなり、今後も利用者や家族、地域、職員にとってより良い大府福祉にしていけるように、日々精進していきます。

- ※1 自由奔放な独創的なアイデアを出すための手法で、決して他者を批判せず、受け止めることで、発言しやすい雰囲気を作り出す
- ※2 カード状の紙に一つ一つ情報を記し、そのカードを並べ変えたりグループ化したりすることで情報を整理する手法
- ※3 「効果」と「実現性」の2軸でアイデアを整理し、取捨選択していく手法

下村庄平前理事長、ありがとうございました。

長年にわたり、大府福祉会のためにご尽力くださった下村庄平前理事長が、令和5年5月24日、ご病気のため77歳にて永眠されました。

大府福祉会の準備委員会からのかかわりで、1985年に法人認可されたとき理事に、そして1999年に理事長として就任され、永年に渡り、当法人の理事長として障がい福祉にご尽力されました。

理事長は生前、「街づくりは人づくり」という言葉をよく口にされていました。幅広い人脈を作り、大府の街づくりにも精力的に貢献されました。私たちにもその経験談から、「人の繋がり的重要性」についてよく話をしてくださいました。

また、利用者や職員のことにも常に気を掛けてくださり、法人内の各事業所に利用者の様子を見に来てくださっては、職員にも気さくに声を掛けてくださるということがありました。いつも優しい笑顔で、そして元気な声で、丁寧に接してみえた姿が目によく焼き付いています。

理事長は、「仕事はもちろん大切だが、しっかり遊んだり、家族と過ごしたり、リフレッシュすることも大切だぞ。」ということもよく言われていました。日々の忙しさに流されがちですが、その言葉を聞くたびに、立ち止まって考えることができました。

改めまして、下村庄平前理事長のご冥福をお祈りするとともに、謹んでお悔やみ申し上げます。また、これからも、私たちのことを見守り続けてください。よろしく申し上げます。そして、これまで本当にありがとうございました。



寄付の紹介



レクサス東海様より
チャリティ洗車によるご寄付
【法人本部】

デンソーグループ
はーとふる基金様より
LED照明工事
【あけび苑】

近藤産興株式会社様より
食品・日用品・雑貨など



【あけび苑】

(株)豊田自動織機班長会様より
足踏み式消毒液スタンド【あけび苑】



KeepPer 技研株式会社様より
ベッド・テレビ・机・イスなど
【地域生活支援センター「そら」】

東山地区児童民生委員様より
バナナ・コーヒー
【東あけび苑】



イオンリテール株式会社
イオン大高店より
カラープリンター・インク
【あけび苑】

マックスバリュ中部(株)
マックスバリュ大府店様より
コーヒー・紅茶
【ひだまり】

イオンリテール株式会社
イオン東浦店より
ストラックアウト・
ミニトランポリンなど
【東あけび苑】



大府市福祉・健康フェア 9月24日

昨年のフェアは大盛況でした。しかし、小規模で利用者全員は参加できず「来年は参加したい」という声が多かったです。今年は来てくれる方を含め、全員が楽しかったと思えるフェアにしたいです。今年は、あけび苑に加え、「そら」とみのりも参加します！



東あけび苑×たくと大府×セレクトナ 11月5日

みんなの笑顔あふれる東あけび苑フェスタになるよう利用者・家族・職員みんなで力を合わせて頑張っています！
たくと大府フェスタと共に、皆さまのご来場をお待ちしております！



機関紙

ほほえみ

2023年 夏の号

発行：社会福祉法人 大府福祉会 編集：地域広報部会
☎474-0011 大府市横根町名高山 78 番地 2
TEL：0562-85-5228 FAX：0562-85-5229
URL：<http://www.obufukushikai.com>
↑ホームページで、カラー版「ほほえみ」もぜひ！
Email：obufukushikai1985@aroma.ocn.ne.jp



← Facebook
やっています！



表紙の『ほほえみ』の文字は、東あけび苑の鈴置隆志さんが切ったものです。